# 国際文化学部 科目一覧

※カリキュラム見直し等により、カリキュラム表および科目名は変更となる場合があります。

各授業についての詳細はこちら
https://syllabus.hosei.ac.jp

| 4年間の流れ | | | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教養科目（ILAC） | 真の意味での「教養」を身につけるため、人文科学・社会科学・自然科学・情報科学・外国語・保健体育の各分野をバランスよく学ぶカリキュラムとなっています。 | | | | | |
| 専門科目 | 国際文化学部生向けに設けられたカリキュラムです。専門的な分野を探究し、社会で活躍するための実践的な能力を養成します。 | | | | | |
| 海外留学（SA） | SAプログラムを修了すると、通常計16単位が単位認定されます。※外国人留学生は、2年生夏季期間にSJプログラムに参加します。 | | | | | |
| 演習（ゼミ） | 専任教員が担当し、ゼミナール形式で行われます。学生が1・2年次において（とりわけ、SA・SJプログラム参加中に）発見したテーマを発展・展開させる機会となります。 | | | 一部の演習は2年次から受講可能 | | |
| 専門教育科目 | 入門科目 | | ●国際文化情報学入門（必修） | | | |
| | 基幹科目 | 基幹共通 | | ●国際文化情報学の展開 | | |
| | | 情報文化科目群 | ●ディジタル情報学概論 ●統計処理法 ●システム論 ●文化情報学概論 ●情報産業論 ●ネット文化論 | | | |
| | | 表象文化科目群 | ●表象文化概論 ●メディアと情報 ●社会と美術 ●メディアと社会 ●身体表象論 ●現代思想 | | | |
| | | 言語文化科目群 | ●言語文化概論 ●比較文化 ●ジェンダー論 ●異文化間コミュニケーション ●Philosophy of the Public Sphere | | | |
| | | 国際社会科目群 | ●国際関係学概論Ⅰ･Ⅱ ●国家と民族 ●国際文化協力 ●平和学 ●宗教と社会 ●異文化適応論 ●Religion and Society | | | |
| | 情報科目 | | ●情報システム概論 ●メディア情報基礎 | ●ネットワーク基礎 ●メディア 表現法 ●メディア　アートの世界 ●プログラミング言語基礎 ●仮想世界研究 ●社会とデータサイエンス | | |
| | 言語科目 | | ●言語の理論Ⅰ･Ⅱ | ●世界の言語Ⅰ･Ⅱ ●世界の英語 | ●社会言語学 ●応用言語学 | |
| | メディアコミュニケーション科目 | 文化情報学の実践 | ●文化情報のデザインワークショップ | ●文化情報のためのネットワーク技法 ●視覚デザ　インと文化情報 | ●情報アプリケーションⅠ･Ⅱ | |
| | | 言語コミュニケーション | ●英語コミュニケーションⅠ（会話）<br>●ドイツ語コミュニケーションⅠ（会話）<br>●フランス語コミュニケーションⅠ（会話）<br>●ロシア語コミュニケーションⅠ（会話）<br>●中国語コミュニケーションⅠ（会話）<br>●スペイン語コミュニケーションⅠ（会話）<br>●朝鮮語コミュニケーションⅠ（会話） | ●英語コミュニケーションⅡ（表現）<br>●英語コミュニケーションⅢ（留学会話）<br>●ドイツ語コミュニケーションⅡ（表現）<br>●ドイツ語コミュニケーションⅢ（留学会話）<br>●フランス語コミュニケーションⅡ（表現）<br>●フランス語コミュニケーションⅢ（留学会話）<br>●ロシア語コミュニケーションⅡ（表現）<br>●ロシア語コミュニケーションⅢ（留学会話）<br>●中国語コ　ミュニケーションⅡ（表現）<br>●中国語コ　ミュニケーションⅢ（留学会話）<br>●スペイン　語コミュニケーションⅡ（表現）<br>●スペイン　語コミュニケーションⅢ（留学会話）<br>●朝鮮語コ　ミュニケーションⅡ（表現）<br>●朝鮮語コ　ミュニケーションⅢ（留学会話） | ●英語アプリケーションⅠ～Ⅹ<br>●ドイツ語アプリケーション<br>●フランス語アプリケーション<br>●ロシア語アプリケーション<br>●中国語アプリケーションⅠ～Ⅳ<br>●スペイン語アプリケーション<br>●朝鮮語アプリケーション | |
| | | スタディ･アブロード科目 | | ●スタディ･アブロード（基礎）（必修） ●スタディ･アブ　ロード（言語）Ⅰ･Ⅱ | | |
| | 専攻科目 | 情報文化科目群 | 【方法論】●こころの科学 ●こころとからだの現象学 | | | |
| | | | | 【システムと人間】●道具のデザイン学 ●情報セキ　ュリティとプライバシー ●文化と生物 ●文化と環境情報 【メディア】●文化情報空間論 ●コンピュータ音楽と音声情報処理 【デザイン】●文化情報の哲学 | | |
| | | | | | 【方法論】●ゲーム構築論 【デザイン】●コネクション･デザイン ●情報の編集論 ●ソーシャル･プラクティス 【演習】●情報文化演習 | |
| | | 表象文化科目群 | 【映像表現】●映像文化論 ●写真論 【表象芸術】●ポピュラー音楽論 ●比較表象文化論 ●異文化と身体表現 | | | |
| | | | | 【表象の理論】●サブカルチャー論 ●道具による感覚･体験の　デザイン ●Gender and Japanese Culture 【メディア表現】●マルチメディア表現法 ●フィールドワークと表現 ●クリエイティブ･ライティング ●五感共生論 【表象芸術】●空間デザイン論 ●パフォーマンスの美学 ●現代美術論 | | |
| | | | | | 【映像表現】●映像と文学 【表象芸術】●演劇論 ●コミックス論 【演習】●表象文化演習 | |
| | | 言語文化科目群 | 【アジアの文化】●中国の文化Ⅰ（現代中国社会）･Ⅱ（多民族社会中国）･Ⅲ（日中文化交流史） 【ヨーロッパの文化】●フランス語圏の文化Ⅰ（思想）･Ⅱ　（芸術）･Ⅲ（文学）･Ⅳ（複言語･複文化社会） ●北米文化論（ケベック講座） | | | |
| | | | | 【世界の中の日本文化】●世界の中の日本文学<br>【アジアの文化】●中国の文化Ⅳ（中国語の構造）･Ⅴ<br>【ユーラシアの文化】●ロシア･中央アジアの文化<br>【英語圏の文化】●英語圏の文化Ⅰ（文化史）･Ⅱ（思想 | ●世界の中の日本語 ●日英翻訳論<br>（中国語と日本語）･Ⅵ（古典思想･文学）･Ⅶ（近代文学）･Ⅷ（現代文学）･Ⅸ（中国俗文学）･Ⅹ（歴史） ●朝鮮語圏の文化Ⅰ（朝鮮半島の文化史）･Ⅱ（朝鮮語の構造） ●アジアの伝統芸能<br>●ロシア･東欧の文化 【ヨーロッパの文化】●ドイツ語圏の文化Ⅰ･Ⅱ ●スペイン語圏の文化Ⅰ･Ⅱ<br>史）･Ⅲ（現代事情）･Ⅳ（文学と社会A）･Ⅴ（文学と社会B）･Ⅵ（文学と社会C） | | |
| | | | | | 【世界の中の日本文化】●実践翻訳技法 【ヨーロッパの文化】●カタルーニャの文化Ⅰ（言語A）･Ⅱ（言語B）･Ⅲ（歴史･社会A）･Ⅳ（歴史･社会B）<br>【英語圏の文化】●英語圏の文化Ⅶ（英語の構造）･Ⅷ（英語の歴史） ●Structure of English ●History of English 【演習】●言語文化演習 | |
| | | 国際社会科目群 | 【国際協力】●実践国際協力 ●国際関係研究Ⅰ ●途上国経済論 【多文化社会】●国際関係研究Ⅳ ●宗教社会論Ⅰ<br>【国際関係と地域】●国際関係研究Ⅱ ●人の移動と国際関係Ⅰ ●国際関係研究Ⅲ ●持続可能な社会 ●Approaches to Transnational　History | | | |
| | | | | 【国際社会研究の方法】●世界とつながる地域の歴史　と文化 ●実践社会調査法 【多文化社会】●宗教社会論Ⅲ ●間文化性研究翻訳論 ●多文化社会と人間<br>【国際関係と地域】●人の移動と国際関係Ⅱ ●人の　移動と国際関係Ⅲ ●地域協力･統合 | | |
| | | | | | 【多文化社会】●宗教社会論Ⅱ 【演習】●国際社会演習 | |
| | | 卒業研究 | | | | ●卒業研究 |
| | | インターンシップ科目 | | ●インターンシップ事前学習 | | |
| | | スタディ･アブロード科目 | | ●スタディ･アブロード（専攻）Ⅰ～Ⅴ ●スタディ･アブロ　ード（上級）Ⅰ～Ⅲ | | |
| | | スタディ･ジャパン科目 | | ●スタディ･ジャパン | | |
| | | 海外フィールドスクール | | | ●海外フィールドスクール | |
| | 自由科目 | | ●ESOP科目 ●グローバル･オープン科目 ●短期語学研修 ●国際ボランティア ●国際インターンシップ ●数理･データサイエンス･AI プログラム（MDAP） | ●総合科目 ●他学部公開科目 ●千代田区キャン　パスコンソーシアム | ●大学院設置科目 | |